

合格体験記

3年10組6席 鈴木淳貴

出身中学校：皇學館中学校

進路先：筑波大学 理工学群 物理学類

合格校：筑波大学 理工学群 物理学類

三年間を振り返ってまず思うのは明確な目標を持つことの大切さです。私の場合中学校の段階で「将来どういう大学に入ってどういう勉強をするか」など具体的に目標を決めていたので高校での勉強が非常に捗りました。3年の夏には不安と焦りで一週間程まともに寝れなくなったこともありました。それ以外にも何度も壁にぶつかりましたが、それらを乗り越え3年間最後までモチベーションを維持し続けられたのは「目標を達成してやる」という強い気持ちがあったからであると思います。

次に誰もが言うことですがやはり最後まで諦めないことは重要です。私が受けた試験の場合、1日目が学科試験（物理）で2日目に面接（前日間違った問題について黒板で説明等）でした。試験が始まり問題を見たら今まで見たこともない問題でパニックに陥りました。終わってみればいつもの実力が出せずケアレスミスまでしてしまい合格は絶望的でした。2日目を受けずに帰ろうかとも思いましたが最後まで諦めてはいけないと思い、寝ずにその問題の分からなかった所に取り組み、面接に挑みそして合格を掴むことができたのです。

最後に、私が合格できたのは自分の努力だけではありません。自分の間違った考えを正してくれたりわからない所の質問に丁寧に答えてくださった先生方や、互いに教えあったり、時に励まされ、また放課後遅くまで面接練習に付き合ってくれた友人らの支えがあったからであると思います。

受験は自分だけのことじゃないと頭の片隅に覚えておいてください。

以上です。皆さんも夢に向かって一生懸命頑張ってください。

3年10組4席 坂井藍都

出身中学校：皇學館中学校

進路先：信州大学 工学部 電気電子工学科

合格校：信州大学 工学部 電気電子工学科

私は高校の三年間で一度も塾へは通っていませんでした。ですので、特別な参考書などを購入して勉強していたわけではありません。それでも第一志望校に合格することができました。私が一番大切にしてきたことは、授業をしっかりと聞くということでした。授業で分からないことがあれば、先生や友達に聞き、きちんと理解してから学校を出るよう心がけていました。受験勉強はまず勉強の習慣をつけるということが大切です。いきなり一日十時間以上勉強しようと思ってもなかなかできないので、最初、平日は四時間、休日は六時間と決めて勉強を始めました。私の担任の先生は、習慣は二週間できるとよくおっしゃっていたので、まずは二週間続けてみました。すると本当に習慣が付きました。そこからはどんどん勉強時間を増やしていきました。時間はたっぷりあると思っても、実際いざ受験が迫ってくると全然時間が足りなくなってくるのでなるべく早く受験勉強を始めることをお勧めします。

あともう一つ大切なことは、卒業後の進路や将来何がしたいのかを明確にしておくことです。これは推薦試験などの面接では必ず必要になってきます。将来の夢や大学で学びたいことをはっきりとさせておくことでスムーズに面接を進めることができます。実際の試験では、緊張し、焦り、不安になったりしますが、それは他の受験生も同じなので落ち着くことが大切です。面接で一番大事なことは、思っていることがあれば言うということです。面接はいつ終わってしまうのかわからないので、必ず言いたいことは、迷わず言うようにしてください。そうすれば少しでも合格に近づくことができると思います。

そして、私が合格することができたのは、担任の先生や友達に何度も面接練習をしていただいたからです。受験は自分との戦いですが、決して一人ではありません。共に第一志望校を目指す友と助け合い、切磋琢磨しながら頑張ってください。

最後に、家族や先生等、友達への感謝の気持ちを忘れず後悔しないようやりきってください。

3年10組10席 中屋智裕

出身中学校：皇學館中学校

進路先：青山学院大学 社会情報学部 社会情報学科

合格校：1. 青山学院大学 社会情報学部 社会情報学科

2. 専修大学 ネットワーク情報学部 ネットワーク情報学科

「修学旅行が終わってから」

この言葉通り、私は高校二年の秋にある修学旅行を境に受験勉強を始めようと思っていました。ですが、それまで定期テスト期間以外にまともに家で勉強したことのなかった私は、何をどのように勉強したらよいのか分からず、仮に机に向かったとしても全く集中力が続かなく、いろいろと躓いていたらあつという間に冬になってしまいました。このままではヤバイと感じた私は、とにかく家は誘惑が多くて勉強できないという理由で、ほぼ毎日塾の自習室を利用していました。周りが勉強しているというだけあって、私もそれに対する集中力は格段に上がりました。やはり環境と集中力は比例します。私は電車通学だったので、電車の中では主に単語帳を見て覚えていました。単語は、一度覚えてもすぐに忘れてしまうので、何度も何度も繰り返し覚えていました。高三の秋頃になると、友達が推薦入試で合格して、めでたいという気持ちもありましたが、やはり焦りを感じました。でもくじけず自分の意志を貫くことです。その結果、私は志望していた大学に合格することができました。

大学に合格する。それは確かに個人個人の頑張りがが必要です。頑張らずに合格する人はほとんどいません。でもその頑張りというのは周りの人たちが支えてくれるからあるのです。分からない問題は先生が教えてくれる。勉強がだめでくじけそうな時は友達が励ましてくれる。そして全ての面で家族が応援してくれる。受験勉強は決して一人だけで行っているのではありません。そのことを忘れないでください！

3年9組13席 矢田聖斗

出身中学校：皇学館

進路先：横浜市立大学 国際総合科学部 経営科学系

- 合格校：1. 横浜市立大学 国際総合科学部 経営科学系
2. 関西学院大学 商学部 商学科
3. 立命館大学 経営学部 国際経営学科
4. 立命館大学 経営学部 経営学科
5. 関西大学 商学部 商学科
6. 近畿大学 経営学部 経営学科

僕は、1年生の頃から志望校を決めていました。志望校を早くから決めたことで、勉強する意欲が湧き、モチベーションを最後まで維持することができました。なので、できるだけ早くから志望校を決めることが大切です。

僕の志望校はセンター重視だったのでセンターについての勉強の仕方を書きたいと思います。僕は、2年生の冬からセンターに向けて勉強を開始しました。3年生の夏までは1週間で1年分の過去問や予想問題を解いていました。夏休みには苦手な数学を克服しようと筆記問題にも挑戦していました。とにかく、勉強に行き詰って迷っているくらいなら、少しでも多くの問題を解いた方がいいです。冬にはひたすらセンターを解いて、冬休みは1日5教科7科目を必ず解きました。センターは、数をこなすことできつとできるようになります。あと、基礎として英単語や古典単語を覚え、問題を解くことで再確認をすることは必ずしてください。このことはすべての教科にも当てはまることです。

そして、いつも良い結果だけを夢見るのではなく最悪のシュミレーションも試みて下さい。何もかもがうまく行くことはありません。だから最悪の状態を想像し、志望校に合格するために現在すべき最善の手立てを尽くしてください。

最後に、受験前は誰もが不安になります。そこで諦めたら絶対に志望校には行けません。そして、自分を過信するのではなく確かな自信をつけてください。そうすれば受験前に緊張することはありません。あと、いつも家族や友人、先生に支えられていることを忘れないで下さい。友人と切磋琢磨し、励ましあったりすることは大切です。試験前夜などのときには心強いです。私は、皆さんが何度躓いても最後まで諦めず笑顔で合格できることを願っています。

3年9組5席 北村裕作

出身:皇學館中学

進路先:法政大学 経営学部 経営学科

- 合格校: 1. 法政大学 経営学部 経営学部
2. 日本大学 商学部 経営学科
3. 駒澤大学 経営学部 経営学科

僕は特に変わった勉強法はないけど、これだけは言っておきたいことが3つあります。

まずは、できるだけ学校には行ってください。試験本番の体力が持ちません。それに、先生方に課外を頼むとたぶん引き受けてくれます。僕は3年生になってからは皆勤だったのである先生に「あんたは毎日来とるけど、それが1番いいんやよ」といつも言われました。古典のI先生です。女の先生です。

2つ目は、いつ勉強を始めても遅いということは無いです。

僕は本格的に受験勉強を始めたのは高3の秋でした。でも、それからは死ぬ気で勉強しました。過去問も何年分解いたかわかりません。

3つ目は聞き流しても構いません。楽しいキャンパスライフを想像するといいですよ(笑)

最後の最後まで諦めずにがんばってください。

3年10組20席 島谷萌子

出身中学校：皇學館中学校

進路先：三重大学 工学部 機械工学科

合格校：1. 三重大学 工学部 機械工学科

2. 同志社大学 生命医科学部 医工学科

3. 南山大学 経済学部

4. 南山大学 情報理工学部

受験勉強を始めたのは、高校2年生の、夏休みの終わり頃です。しかし、模擬試験において、化学の得点が低かったため、化学だけは、高校2年生の始めから勉強していました。苦手科目である化学の勉強方法は、1冊の参考書を完璧に暗記し、多くの問題を解き、わからない問題があれば、1冊の参考書で調べ、解く。これを徹底的に繰り返しました。この勉強法を、高校2年生からしていたにも関わらず、高校3年生の11月頃まで、化学の模試点数は伸び悩んでいました。高校3年生の12月頃になって、突然、化学の問題が解けるようになりました。なぜこのように、突然解けるようになったかは謎ですが、高校3年生の12月までは、化学の模試点数は50点ほどだったのが、最終的に、センター試験では、化学の点数は90点近く得点でき、40点も伸ばす事ができました。このように、私の場合、勉強し始めてから成果がでるまで、2年近くかかりました。皆さんも、苦手科目を克服するためには、早めに勉強を始めた方がいいと思います。根気強く、前向きに、継続するしかないと思います。自分を信じて、少しずつでも、前進してください。

3年9組4席 奥山友土

出身中学校：皇學館中学校

進路先：滋賀大学 経済学部 ファイナンス学科

合格校：1. 滋賀大学 経済学部 ファイナンス学科

2. 関西学院大学 商学部

3. 立命館大学 経済学部

4. 愛知大学 経営学部 会計ファイナンス学科

私がこの合格体験記で伝えたいことは二つあります。一つ目はセンター試験についてです。まず始めに私が言いたいのは、絶対に慢心してはいけないということです。実際に私は慢心によってセンター試験を失敗してしまいました。センター対策としては過去問が一番大事だと思います。また、センター本番の時は周りの人を気にせずマイペースでいてください。これは結構重要で、自分のペースでいられなくなると実力が発揮できなくなるからです。

二つ目は数学の勉強方法についてです。私は文系ですが数学が一番好きで、点数も一番取れました。そこで私がおすすめする数学的思考能力を上げる方法は「わからない問題はまず自ら一時間考えてから人に聞く」をモットーにすることです。確かに人に教えてもらおうと丁寧でわかり易いけれど、自ら考え自ら理解したことよりも頭には入りません。なので解説の少ない問題集を買って少ない解説から自ら考えて解答の筋道を作る練習をするとよいと思います。やはりこういう厳しい状況の中で考えることにより数学的思考能力が上がるはずで、是非数学を受験で使う方は実践してみてください。でも数学が嫌いだけど受験で使う人は解き方を暗記した方がよいと思います。

最後に、受験勉強で必要なのは時間だけでなく集中力もです。いくら勉強時間が長くても頭に入らなければ勉強している意味がないので、自分の集中力にあった時間を探して効率よく勉強してください。あと、二回目ですが本当に慢心には気をつけてください。では皆さんが悔いのない受験ができることを願っています。

3年9組8席 田端紳

出身中学校：皇學館中学校

進路先：慶應義塾大学 総合政策学部

- 合格校：1. 慶應義塾大学 総合政策学部
2. 中央大学 法学部 政治学科
3. 同志社大学 法学部 政治学科
4. 立命館大学 法学部 法学科

僕は高校生活の一年目は勉強のことなんて一切気にしていませんでした。そんな僕が受験を意識し始めたのは高2の夏、周りの友人が難関の志望校目指し既に勉強を始め、自分とものすごく大きな差が付いていることに気がついたときです。それから、「僕も勉強しなければまずい。」という焦りに駆られ、新たな塾にも通って勉強を始めました。

受験勉強を根気よく続けるには、本当にやる気を維持することが大事です。ただ、これが実際はとても難しいことで、自分で思っているだけではうまくいきません。僕がやる気を維持できたのは、一緒に頑張る仲間が存在があつてこそで、学校の仲間でも塾の仲間でも常に意識していました。成績を他人と比べるのはよくないという人もいますが、僕はそれをかなりバネにしていたと思います。なので受験の間はそのような仲間を持つことがとても大事だと思います。

次に、勉強方法は自分に一番合ったものを自分自身で見つけるべきだと思いますが、僕の感想で伝えたいことだけ書きます。地歴、理科の勉強は授業だけでは間に合わないと思います。できることなら二年や三年の一学期に全範囲を終わらせ、授業で復習するというかたちをとるのもいいと思います。また変わった教科で、僕は受験科目に小論文があり、その対策には頭を悩ませました。こればかりはとにかく知識をため、たくさん書いて先生に添削して頂くしかありません。一度添削して頂いた小論文も、もう一度反省点を活かし書き直して見て頂くといいです。そうすることで自然と文が書けるようになっていきます。

最後に、これを読むみなさん、受験は正直しんどいです、しょっちゅう嫌になります、でもこれを乗り切った後の達成感はいいですよ。高校生活すべてを楽しむのもいいと思いますが、受験生活は僕はよかったと思っています。受験をするみなさんの努力が実ることを心から祈っています。